

# 日本土壌微生物学会 2022 年度定期総会資料

2022 年 6 月 19 日（日）16:10～17:10（予定）

オンライン開催

## 総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 2021 年度事業報告
  - 1) 大会報告
  - 2) 会誌出版・編集報告
  - 3) 幹事会報告
  - 4) 会計報告
5. 2022 年度事業計画
  - 1) 事業計画案
  - 2) 予算案
6. その他
7. 議長解任
8. ポスター賞受賞者発表
9. 次年度大会実行委員長挨拶
10. 閉会の辞

## 2021 年度事業報告

### 1) 2021 年度東京大会

日時：6月18日（金）～6月19日（土）オンラインのみの開催

参加申込数：145名

市民公開シンポジウム申込数：21名（学生6名、その他15名）

一般講演 32件（うちポスター発表23件、口頭発表9件）

農学賞受賞記念講演、SBB ワークショップ

市民公開シンポジウム「人と土壌微生物の関わり」3題

大会シンポジウム「土壌微生物研究の地球環境問題への貢献」2題

### 2) 会誌出版・編集報告

#### (1) 「土と微生物」出版報告

- ① Vol. 75-2 (2021年10月発刊) 47頁：追悼1編、シンポジウム4編、原著論文1編、日本土壌微生物学会2021年度大会講演要旨、書評
- ② Vol. 76-1 (2021年4月刊行) 33頁：追悼1編、巻頭言、日本農学賞受賞論文1編、シンポジウム1編、総説1編、こんなことがいま

#### (2) 「土と微生物」投稿状況（2022年6月1日）

	原著論文			シンポジウム・総説・解説		
	受付	受理	審査中	受付	受理	審査中
2022	1	0	1	1	1	0
2021	2	0	1	5	5	0
2020	4	4	0	13	12	0

### 3) 幹事会報告

#### (1) 2021 年度第2回幹事会

日時：2021年12月2日(木)14:00～17:00

開催方法：Teamsによるオンライン形式

(報告事項)

- ①坂上総務幹事が、2021年12月現在の会員動向について、正会員数は増減なしの359名と報告した。
- ②成澤幹事長(代理)が2021年度会計執行状況について、報告した。
- ③染谷編集委員長が「土と微生物」誌の編集状況、投稿状況について報告した。
- ④2021年度東京大会について、豊田大会実行委員長が報告した。

- ⑤宍戸委員が日本農学会運営委員会について報告した。
- ⑥豊田委員が日本微生物生態学会関連について報告した。
- ⑦犬伏委員が日本学術会議関連について報告した。
- ⑧その他 成澤幹事長が 2022 年度に向けた事務局と委員の更新について報告した。

(審議事項)

- ①2022 年度鹿児島大会について、新型コロナの感染状況を考慮して、開催時期、開催方法について検討を継続することとなった。大会実行委員長が準備状況を報告した。日時、参加・発表申込手続等、審議の上、了承した。
- ②基金について、佐藤企画幹事より資料に基づいて説明があり、審議の結果、応募を採択し、配分を 20 万円とすることが了承され、評議員会に諮ることになった。

(2) 2022 年度第 1 回幹事会

日時：2022 年 6 月 10 日(金) 13：00～15:20

開催方法：Zoom によるオンライン形式

(報告事項)

- ①齋藤総務幹事が 2022 年 6 月現在の会員動向について、正会員数は 29 名減の 330 名であることを報告した。
- ②鮫島会計幹事が資料に基づいて、2021 年度の会計報告を行い、次いで、2021 年度の会計監査報告の内容を紹介したされた。
- ③染谷編集委員長が「土と微生物」誌の編集状況、投稿状況について報告した。
- ④宍戸委員が日本農学会運営委員会について報告した。
- ⑤二又委員が日本微生物生態学会関連について報告した。
- ⑥犬伏委員が日本学術会議関連他について報告した。

(審議事項)

- ①2022 年度予算案について、鮫島会計幹事から資料に基づき提案され、審議の結果、コロナ禍によるオンライン開催の状況等を踏まえて、2022 年度鹿児島大会に 10 万円支出して、2023 年度千葉大会（現地開催・オンラインのハイブリッドを予定）に 30 万円を準備金として送金することとなった。
- ②2022 年度鹿児島大会について、境大会実行委員長から準備状況等について説明、検討依頼があり、オンライン開催等のためにかかる費用(情報交換会に使用する Web システム等)を学会の予算から出すこととなった。また、ポスター賞を、学生が発表するポスターを対象として、投票は電子式で行うこと等が決定された。
- ③2023 年度大会は、宍戸会長から、千葉で現地開催とオンラインによるハイブリッド方式で行うことが説明された。

(3) 名誉会員の決定 土屋健一（九州大学名誉教授）

4) 会計報告

(1) 2021 年度会計報告

(2) 2021 年度会計監査報告

2022 年 4 月 22 日に坂本淳氏、加藤孝太郎両氏による会計監査が行われ、支出収入に誤りのないことが確認された。

2022 年度事業計画

1) 2022 年度事業計画案

(1) 2022 年度鹿児島大会をオンラインで開催する。

(2) 学会誌「土と微生物」を発行する。

(3) 2023-2024 評議員選挙を進める。

・ 2022 年 6 月 14～17 日 評議員会(メール審議)

・ 2022 年 6 月 19 日 総会にて選挙管理委員会設置提案. 承認後活動開始

・ 2022 年 11 月〇日 公示期限

・ 2023 年 1 月〇日 投票期限

・ 2023 年 1 月末を目処 地方選出評議員当選者の確定

・ 2023 年 2～3 月を目処 地方選出評議員による会長(及び副会長)の選出

・ 2023 年 4 月を目処 会長指名評議員 8 名(及び副会長)の確定

(4) 2023 年度大会を千葉大学で開催するための準備を進める。

(5) 土壌微生物学会基金による事業助成の募集を行う。

2) 2022 年度予算案（資料 2 参照）

3) その他

資料1 2021年度会計関連報告

日本土壤微生物学会 2021年度会計報告 (2022.3.31現在)

①2021年度収入の部

項目	予算額	決算額	差額	執行率	備考
前年度繰越金	3,123,504	3,123,504			
正会員費	1,735,000	1,465,000	-270,000	84%	計293名*5,000円
購読会員費	186,000	180,000	-6,000	97%	21機関30口*6,000円
賛助会員費	220,000	200,000	-20,000	91%	16社20口*10,000円
M&E誌代金	0	15,000	15,000		3件*5,000円
大会運営費返金	300,000	8,004	-291,996	3%	東京大会(オンライン開催で大会運営費支出なし)
雑収入	50,000	108,471	58,471	217%	印税および著作権料108456円、利子15円
小計 (単年度収入分)	2,491,000	1,976,475	-514,525	79%	
合計 (繰越金を含む)	5,614,504	5,099,979	-514,525	91%	

②2021年度支出の部

項目	予算額	決算額	差額	執行率	備考
会誌刊行費	1,240,000	1,144,731	-95,269	92%	Vol.75No.1(573,571円)、Vol.75No.2(571,160円)
大会運営費	600,000	0	-600,000	0%	東京大会30万円、鹿児島大会30万円(オンライン開催で執行なし)
日本農学会分担金	49,700	50,850	1,150	102%	2022年度分
学術シンポ等補助	0	0	0		
M&E誌印刷・発送手数料	25,000	10,000	-15,000	40%	M&E誌購読会員2名分 Vol.36No.1~4(各2部)、印刷・発送費
M&E誌共同編集・出版費	200,000	200,000	0	100%	2021年度分
公開シンポジウム・出前授業経費	10,000	0	-10,000	0%	
事務費	371,000	83,990			
事務管理費	15,000	1,571	-13,429	10%	ホームページ使用料
旅費交通費	130,000	0	-130,000	0%	
会議費	0	0	0		
通信郵送費	150,000	14,980	-135,020	10%	切手代、郵便代
文房具費	1,000	2,195	1,195	220%	スクラップブック(2冊)、ラベルシール、封筒
諸印刷費	70,000	65,079	-4,921	93%	会費請求・再請求、大会案内、J-STAGE案内等
雑費	5,000	165	-4,835	3%	送金料金
小計 (単年度支出分)	2,495,700	1,489,571	-1,006,129	60%	
小計 (次年度繰越金)	3,118,804	3,610,408	491,604		
合計 (繰越金を含む)	5,614,504	5,099,979	-514,525		

③日本土壤微生物学会基金（2022年3月31日現在）

前年度末残高	当年度増加額	当年度減少額	当年度末残高	備考
4,699,597	39	500,605	4,199,031	4/16 肥後昌男 氏 (30万円+振込手数料440円) 3/31 宇賀神温 氏 (20万円+振込手数料165円)

④財産目録（2022年3月31日現在）

項 目	金 額
現金	2,410
ゆうちょ振替口座	1,060,000
ゆうちょ銀行総合口座	2,078,820
常陽銀行普通預金	469,178
ゆうちょ銀行通常貯蓄貯金口座(基金用)	4,199,031
財産合計	7,809,439


⑤備品目録（2022年3月31日現在）

項 目
ノートパソコン
プリンタ
会員管理ソフト
HPビルダー
Mac用Ethernetアダプタ

## 2021年度 会計監査報告

本日、金銭、出納簿、預金通帳および各種領収書について詳細に監査した結果、各帳簿、領収書ともに極めて整然としており、支出収入に誤りのなかったことを報告いたします。

日本土壤微生物学会会計監査委員

氏名 坂本 淳 

令和 4 年 4 月 22 日

氏名 加藤 孝太郎 

令和 4 年 4 月 22 日

資料2 2022年度予算案

日本土壌微生物学会 2022年度予算案

(1) 2022年度収入の部			参考(2021年度)		(2020年度)
項目	予算額	算出方法	予算額	決算額	決算額
前年度繰越金	3,610,408		3,123,504	3,123,504	2,451,646
正会員費	1,585,000	317人(5/2時点)*5,000円 (正会員330名-会費免除者11名-休会者2=317)	1,735,000	1,465,000	1,590,000
購読会員費	168,000	25機関28口*6,000円	186,000	180,000	192,000
賛助会員費	210,000	17社21口*10,000円	220,000	200,000	210,000
M&E誌代金	0		0	15,000	30,000
大会運営費返金	0	鹿児島大会(オンライン大会)	300,000	8,004	300,000
雑収入	50,000	印税、著作権料、CD-ROM販売、預金利子	50,000	108,471	99,388
小計(単年度収入分)	2,013,000		2,491,000	1,976,475	2,421,388
合計(繰越金を含む)	5,623,408		5,614,504	5,099,979	4,873,034
(2) 2022年度支出の部			参考(2021年度)		(2020年度)
項目	予算額	算出方法	予算額	決算額	決算額
会誌刊行費	1,050,000	Vol.76No.1(47万円)、Vol.76No.2(58万円)、会誌送付	1,240,000	1,144,731	1,232,434
大会運営費	400,000	2022年度鹿児島大会予備費(10万円)、2023年度千葉大会準備費(30万円)	600,000	0	0
日本農学会分担金	50,850		49,700	50,850	49,700
学術シンポ等補助	0		0	0	0
M&E誌印刷・発送手数料	25,000	Vol.37(No.1~4)	25,000	10,000	55,000
M&E誌共同編集・出版費	200,000	確定額	200,000	200,000	200,000
公開シンポジウム・出前授業経費	10,000	公開シンポジウム講師謝金	10,000	0	0
事務費	288,000		371,000	83,990	212,396
事務管理費	50,000	ホームページ使用料、ゆうちょダイレクトトークン発行料金、事務アルバイト謝金など	15,000	1,571	1,571
旅費交通費	30,000	諸会議出席費	130,000	0	0
会議費	30,000	Zoom年間契約料、評議員会等関連経費	0	0	0
通信郵送費	100,000	会費請求、評議員選挙関連郵送料、郵便・宅急便など	150,000	14,980	140,931
文房具費	3,000		1,000	2,195	349
諸印刷費	70,000	会議資料、会費請求、封筒など	70,000	65,079	69,325
雑費	5,000	振込手数料など	5,000	165	220
小計(単年度支出分)	2,023,850		2,495,700	1,489,571	1,749,530
小計(次年度繰越金)	3,599,558		3,118,804	3,610,408	3,123,504
合計(繰越金を含む)	5,623,408		5,614,504	5,099,979	4,873,034